# 2005年防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日２００６年　　１月　　３１日

## Ⅰ　概要

| | | |
|---|---|---|
| 実践団体・担当者名 | 高知県立高知東高等学校（担当者：谷内　康浩・小川　晴美） | |
| 連絡先 | 高知県高知市一宮徳谷２３－１　電話０８８（８４５）５７５１ | |
| プランタイトル | 徳島県立防災センターでの防災体験と石の博物館での学習旅行 | |
| 目的 | 災害特性を踏まえた防災に関する知識や防災意識の向上、防災行動力の強化を図るため、体験施設での研修を行います。また、岩石や鉱物（宝石）、隕石を直接観察することにより、地球の成り立ちについて理解を深めます。 | |
| プランの概略 | ○日程<br>高知東高校発→高速道→徳島県立防災センター→（昼食）→太刀野の中央構造線露頭見学→ラピス大歩危→大豊 IC→高速道→高知東高校着<br>○内容<br>・徳島県立防災センター：地震体験・消火体験・煙体験・風雨体験・通報体験など<br>・ラピス大歩危：岩石や鉱物の観察<br>・車中：四国の地質や中央構造線について学び、地震活動によって日本列島ができたことを理解する。 | |
| プランの対象と参加人数 | 全校生徒および教職員対象に募集<br>参加者：生徒２４名、教職員７名 | |
| 実施日時 | ２００５年７月２０日（水曜日） | |
| 主な実施場所 | 徳島県立防災センター<br>ラピス大歩危（石の博物館） | |
| 連携した団体名、連携の方法 | 連携団体の有無 | 無し |
| | 連携した団体名 | |
| | 連携したきっかけ・理由 | |
| | 連携団体へのアプローチ方法 | |
| | 連携団体との打合せ回数 | |
| | 連携団体との役割分担 | |

## Ⅱプラン立案過程

| | | |
|---|---|---|
| プラン立案メンバーの | 団体内のスタッフ総人数 | １１名（校内地震防災プロジェクト委員会メンバー） |
| | 外部スタッフの総人数 | ０名 |

| | | |
|---|---|---|
| 人数・役割 | 主なメンバーの役職・役割 | 校長（１名）<br>教頭（２名）<br>事務長（１名）<br>教諭（６名）<br>実習助手（１名） |
| プラン立案に要した日数・時間 | 立案期間 | ２００５年５月 |
| | 立案時間 | １時間×１回 |
| | 上記のうち打合せ回数 | １回 |
| プラン立案で注意を払った点工夫した点 | ○単に徳島県立防災センターでの研修だけではなく、その行程を有効に使い、地球や地震について学ぶメニューを入れること。 | |
| プラン立案で苦労した点 | | |

## Ⅲ実践にあたっての準備

| | | |
|---|---|---|
| 準備に関わった方と人数・役割 | 団体内のスタッフ総人数 | １１名（校内地震防災プロジェクト委員会メンバー） |
| | 外部スタッフの総人数 | ０名 |
| | 主なメンバーの役職・役割 | 校長（１名）<br>教頭（２名）<br>事務長（１名）<br>教諭（６名）<br>実習助手（１名） |
| 準備に要した日数・時間 | 準備期間 | ２００５年６月～７月 |
| | 準備総時間 | ３時間×１（ガイドブック作成）<br>１時間×１（打合せ） |
| | 上記の内打合せ回数 | １回 |
| 教育関係への働きかけ | 働きかけた教育関係者・機関名 | |
| | どのように働きかけたか | |
| | 結果 | |
| 地域への働きかけ | 働きかけた地域の人・機関名 | |
| | どのように働きかけたか | |
| | 結果 | |

| | | |
|---|---|---|
| 保護者・ＰＴＡへの働きかけ | 働きかけた保護者・ＰＴＡ組織名 | |
| | どのように働きかけたか | |
| | 結果 | |
| 機材・教材の準備方法 | 用意した機材・教材 | 機材：アンプ付スピーカー<br>教材：地震・防災に関するビデオソフト |
| | 入手先・入手方法 | 機材、教材とも校内 |
| | 機材・教材選定の理由（なぜこの機材・教材を選んだのか） | 機材：アンプ付スピーカーは、フィールドワークでの説明に利用<br>教材：地震・防災に関するビデオソフトは、車中での学習に利用 |
| 参加者の募集 | 募集方法 | ○ホーム担任や校内放送を利用しての参加の呼びかけ<br>○校内・各教室に募集のポスターを掲示 |
| | 募集期間 | ２００５年６月２３日　～　７月１９日 |
| | 参加予想人数 | ５０名 |
| | 実際の参加人数 | ３１名 |
| | 募集方法の成功点 | ○「地学」選択生が多く参加した。 |
| | 募集方法の失敗点 | ○１年次生は、社会体験学習の期間と重なるため、参加が無理な日程となってしまい、２・３年次生のみとなってしまった。 |
| 準備で苦労した点・工夫した点 | | ○自由参加としたため、興味・関心のある生徒が中心となることは予想されたが、夏休みに入った時期でもあり、参加者の確保に苦労した。<br>○ガイドブックは、終了後も読み物として使えるように工夫した。 |

## Ⅳ　タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

| | プラン立案 | 実践にあたっての準備 | 実践 |
|---|---|---|---|
| 2004<br>11 月 | | | |
| 12 月 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2005<br>1月 | | | |
| 2月 | | | |
| 3月 | | | |
| 4月 | | | |
| 5月 | ○5/31 第１回地震防災プロジェクト委員会で日程確認 | | |
| 6月 | | ○研修場所との連絡・調整<br>○参加者募集 | |
| 7月 | | ○ガイドブックの作成 | 7/20 学習旅行の実施 |
| 8月 | | | |
| 9月 | | | |
| 10月 | | | |
| 11月 | | | |
| 12月 | | | |
| 2006<br>1月 | | | |

Ⅴ実践の詳細　【A．素材　】（メインとなる活動を 45 分を 1 コマとして記入して下さい。）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| タイトル | | | | |
| 実施日 | | | | |
| 所要時間 | ４５分 | | | |
| 達成目標 | | | | |
| 生成物 | | | | |
| 進め方<br>（箇条書き） | | | | |
| ツール<br>（特別に用意したもの） | | | | |
| 場所 | | | | |

Ⅴ実践の詳細　【B．イベント　】（短期集中型のプログラムを 45 分を 1 コマとして記入して下さい。）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| タイトル | | | | |
| 実施日 | | | | |
| 所要時間 | 45 分 | 45 分 | 45 分 | 45 分 |
| 達成目標 | | | | |
| 生成物 | | | | |
| 進め方<br>（箇条書き） | | | | |
| ツール<br>（特別に用意したもの） | | | | |
| 場所 | | | | |

Ｖ実践の詳細　【Ｃ．総合的な学習の時間　】（継続的な学習を 45 分を 1 コマとして記入して下さい。）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| タイトル | | | | |
| 実施日 | | | | |
| 所要時間 | 45 分 | 45 分 | 45 分 | 45 分 |
| 達成目標 | | | | |
| 生成物 | | | | |
| 進め方<br>（箇条書き） | | | | |
| ツール<br>（特別に用意したもの） | | | | |
| 場所 | | | | |

## Ⅵ実践後

| | | |
|---|---|---|
| 参加者への<br>アンケート結果 | 生徒の感想から（抜粋）<br>○報道での被災した人たちの声を大げさだと思っていたけど、全くその通りだと思った。災害にニュースを見る姿勢が変わると思う。<br>○初めて体験したことは、本番でも活かせそう。あとは冷静さのみ。<br>○このような防災体験をまとめて行える施設は、高知県にも必要だ。<br>参加者は、体験を通して災害時のイメージづくりができた。 | |
| 成果として<br>得たこと | ○当初の目的である、災害特性を踏まえた防災に関する知識や防災意識の向上、防災行動力の強化を図ることができた。<br>○実際に岩石や鉱物、地層を観察することで、地球科学に対して興味・関心を高めることができた。 | |
| 成果物 | （学習指導案、指導計画書、配布物、ワークシート、報告書、掲載記事等。<br>データがあればデータファイルを貼付して下さい。）<br>○実施要項　○募集用ポスター　○ガイドブック　○写真 | |
| 広報方法 | 広報した先 | |
| | 広報の方法 | |
| | 取材にきたマスコミ | |
| | 広報された内容（掲載された記事・番組等） | |
| | 成功点 | |
| | 失敗点 | |
| 全体の感想と<br>反省・課題 | ○高知県には、総合的に防災を学ぶ施設がないため、今回の学習旅行は大変有意義なものであった。<br>○参加者数が、バスの定員に満たなかったことが残念であった。実施時期の検討が必要。<br>○今回の研修結果を踏まえ、高知県にも総合的に防災を学ぶ施設を設置するよう、危機管理課に要望した。 | |
| 今後の予定 | 来年度以降の進め方 | ○バス代が確保できれば、徳島県や香川県の防災センターでの研修を継続したい。 |
| | 是非実施してみたい取り組み | ○消防学校での体験入学を通して、防災体験を実施したい。 |

| | |
|---|---|
| 自由記述 | |